

広報オススメ本 2月 テーマ「編み物」



「編み物ざむらい」 横山 起也／著 KADOKAWA

有名な蘭方医である久世の行いに異議を唱えたことで、勘当されてしまった感九郎。路頭に迷っていた所を異形の男、寿之丞に出会い、感九郎が得意としている編み物の腕を買われて「仕組み」稼業を行う彼らの一味と行動を共にするようになる。



「編みもの修学旅行」

三國 万里子／著 文化学園文化出版局

本書はシェットランド諸島やアラン諸島などニットの聖地といわれる場所を著者が巡った旅行記であり、それぞれの伝統的なニットを生み出す風土が紹介されています。あわせて著者による編み図10点が掲載されています。



「世界のときめく毛糸の図鑑」

西東社編集部／編 西東社

編み物ファンがあこがれる世界の47メーカーの毛糸の紹介を中心に、毛糸の元となる羊の種類や染め方等原料そのものについても詳しく紹介した1冊。それぞれの毛糸を活かしたデザイナーによる8点の編み図も掲載されています。